

—水がささえる豊かな社会—

たかとき川

2008・Vol 44

特集

二十一世紀の今、
よみがえる道元禅師の思い。

丹生ダム広報誌

季刊

たかとき川

2008 Vol. 44

長浜市

編

集

後

記

岩根 外江様 北村 昭子様 二宮 征治様 松村 義美様
宇野 純子様 久保田泰子様 藤森 勝代様 矢野 貫城様
片桐 信一様 中川 外昭様

プレゼント申し込みの際提供された個人情報は、プレゼント送付のために使用させて頂くほか、統計データとして個人識別性のない形でのみ使用します。断りなく第三者と共有したり、第三者に提供したりすることはありません。

●この広報誌「たかとき川」は再生紙を使用しております。

丹生ダムからのお知らせ

丹生ダムホームページ <http://www.water.go.jp/kansai/niu>

今年の冬の雪の状況

平成18年冬は、平成17年12月からの降雪で柳ヶ瀬観測所（余呉町柳ヶ瀬）の積雪深が200cmを越える大雪になった年でした。平成19年冬はほとんど雪の積もらない暖かい冬でした。

さて、今年の冬はというと、1月の初旬と2月中旬に降雪が集中しており、柳ヶ瀬観測所の積雪深は最高で97cmで1日に47cm積もった日もありました。また、最初に降った雪が根雪にならず一旦なくなっているところが特徴的です。



EVENT

3月30日(日)

高月町 観音の里 春まつり

- 内容／今春、小学校へ入学する子供たちの無病息災、交通安全を願って福もちまが行われます。その他、つき立ての餅や甘酒も振舞われます。
- 場所／渡岸寺観音堂(向源寺)境内
- 問合せ先／高月町観光協会 ☎ 0749-85-6405

4月10日(木)

余呉町 JRふれあいハイキング 残雪のザゼンソウとユキツバキ

- 内容／ザゼンソウとユキツバキの観察を行います。
- 行程／余呉駅=(送迎バス)=中河内=ザゼンソウ・ユキツバキの観察=柄ノ本峰(淀川水源の碑)-中河内=(送迎バス)=余呉駅(解散)
- 問合せ先／余呉町観光協会 ☎ 0749-86-3085

4月20日(日)

湖北町

道の駅「湖北みずどりステーション」満7周年記念イベント

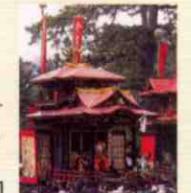
- 内容／町内で収穫された新鮮な野菜が販売されます。また、餅まきやフリーマーケットの開催が予定されています。
- 場所／道の駅「湖北みずどりステーション」
- 問合せ先／湖北町観光協会 ☎ 0749-78-8305



4月9日(水)～4月16日(水)

長浜曳山まつり 子ども歌舞伎

- 内容／400年以上の伝統を誇る日本三大山車祭りの一つで、山車上で子どもたちが歌舞伎を披露します。
- 場所／長浜八幡宮など市街地一帯
- 問合せ先／長浜市観光振興課 ☎ 0749-62-4111



QUIZ

このコーナーでは、毎回、クイズに正解された皆さんの中から、抽選で10名様にプレゼントをお送りしています。

今回の
クイズは…

- 洞院院境内には水難記念の碑があります。これは、明治28年の洪水の際に、島から派遣された救援活動にあたり殉職された警部の功績を後世まで伝えたいということで建てられました。
その方の名は○○兵二郎警部ですが、○○とは何でしょうか？

皆さんのたくさんのご応募をお待ちしています。

【クイズ解答のあて先】

- ハガキには「クイズの解答・住所・氏名・年齢・性別・職業」を明記してください。
また「たかとき川」へのご意見、ご感想等がございましたら、あわせてご記入下さい。
〒529-0522 余呉町坂口819(郵便番号は必ずお書きください)

水資源機構 丹生ダム建設所 広報誌係

*クイズの締切は平成20年4月20日(日)付消印まで有効です。

【たかとき川・43号】のクイズの答え

《雪解け》

前号のクイズに多数の御応募ありがとうございました。
抽選の結果、下記の方々が当選されました。

クイズ当選者(応募総数78枚)

岩根 外江様 北村 昭子様 二宮 征治様 松村 義美様
宇野 純子様 久保田泰子様 藤森 勝代様 矢野 貫城様
片桐 信一様 中川 外昭様

プレゼント申し込みの際提供された個人情報は、プレゼント送付のために使用させて頂くほか、統計データとして個人識別性のない形でのみ使用します。断りなく第三者と共有したり、第三者に提供したりすることはありません。

今回の取材は、煩悩ばかりの私にとって耳の痛いお話ばかりでしたが、自然に対して謙虚であれば、人も人として自然の一部になれるかなと思いました。今はとても便利な世の中で暮らしの近くに自然が少ないために「自然と触れあう」という言葉さえあります。とは言ひながら私自身、この安全で衛生的な暮らしは、とても捨てられそうにありません。ただ、今は蛇口からでも出てくる「水」も、川からやってきたもっと身近な自然だと思うのです。これからも生活中でその「水」に対して、蛇口を開けっぱなしにして川に帰すのではなく、できるだけ蛇口を締めて川から水を取り上げない方法を考えていきたいと思います。もちろん「水」に対する感謝の気持ちを忘れないようにして…

すいせい いき ふる ねこやなぎ
俳 句 / 水声の 势いに震え 猫柳

谷口 秋翠

表紙撮影／余呉町菅並 平成14年3月撮影

平成20年3月発行